



ハイブリッドクラウドデータベース管理の 課題に対するIT実務者の見解

Worldwide Survey Results

RESEARCH BY:



Phil Goodwin
Research Vice President, Infrastructure Systems,
Platforms and Technologies Group, IDC



本InfoBriefの目次

下のタイトルまたはページ番号をクリックすると該当タイトルまたはページへ移動します。

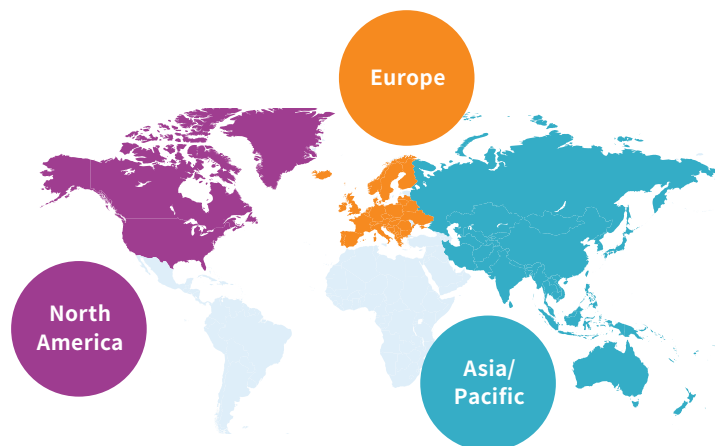
本InfoBriefについて	3	パブリッククラウドおよびハイブリッドクラウド環境における 構造化データ管理の課題	10
エグゼクティブサマリー	4	データベース管理の課題が示す共通の管理プラットフォームの必要性 ..	11
増え続ける多量の構造化データ	5	共通のデータベース管理プラットフォームに期待されるベネフィット ..	12
世界中のミッションクリティカルなアプリケーションにとっての 重要なデプロイメントモデルであるパブリッククラウド	6	結論	13
地域別ミッションクリティカルなアプリケーションの パブリッククラウドへのデプロイメント	7	アナリストについて	14
ミッションクリティカルなアプリケーションにとっての重要な デプロイメントモデルでもあるプライベートクラウド	8	スポンサーからのメッセージ	15
アプリケーションのアジリティを低下させるパブリッククラウドでの データベース管理における課題	9		

本InfoBriefについて

本InfoBriefに記載されているデータと分析は、ハイブリッドクラウドデータベース管理の課題を定量化し、潜在的なソリューションを特定するために、IDCの実施した調査の基礎調査結果に基づくものである。

調査対象者:

地域：
全世界



回答者：

800

データベース管理
システム (database
management
system: DBMS) に
精通したシニアレベル
の回答者



産業：すべての業界の企業組織



エグゼクティブサマリー

構造化データベースは、最も重要で要求の厳しいアプリケーションをホストし続けている。

73%

の企業が、オンプレミスとクラウド
デプロイメントで異なるデータベース
管理プロセスを採用している。

75%

のリレーショナルデータベース
管理システム (relational database
management system : RDBMS)
が、現在プライベートクラウドに
デプロイされている。

データベースサービス
は以下の通り。

- #1 パブリッククラウドのユースケース
- #2 ハイブリッドクラウドのユースケース

オンプレミス



ハイブリッド

63%

の企業が共通のデータ
ベース管理 (database
management : DBM) を
デプロイメントすることは
「非常に」または「極めて」
有益であると考えている。

クラウド



増え続ける多量の構造化データ

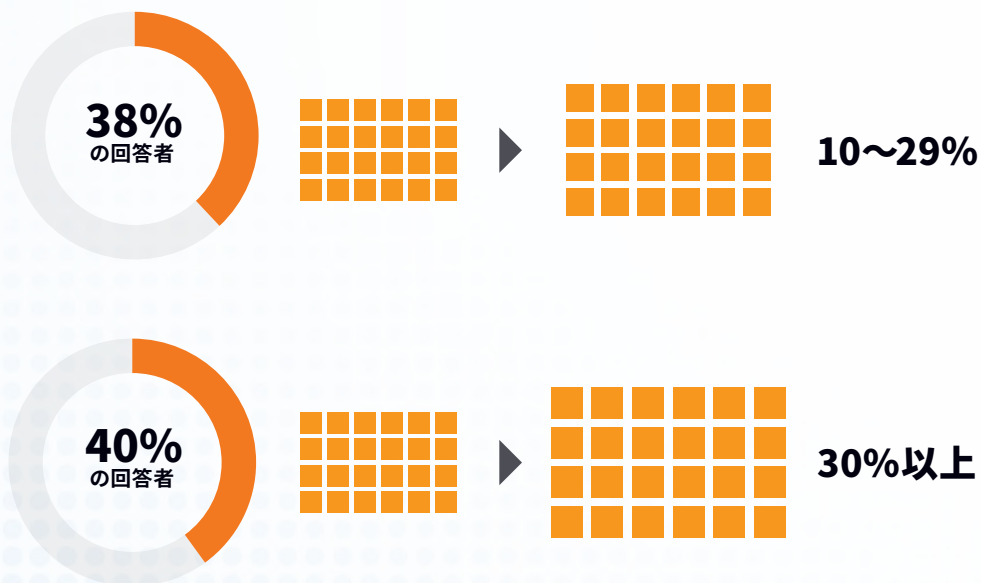
多量の構造化データは、管理システムやリソースを圧迫する。

要点:

組織は現在、膨大な量のデータという課題を抱えており、今後も大幅に増加することが予想される。

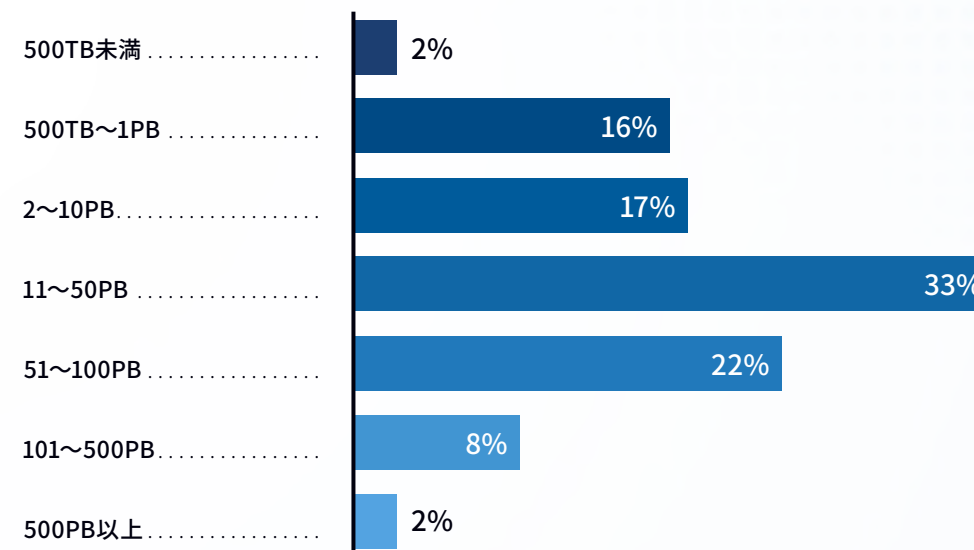
構造化データの増加予測

今後12か月



Q. 組織全体で使用している構造化データストレージの容量（物理容量）はどのくらいですか？

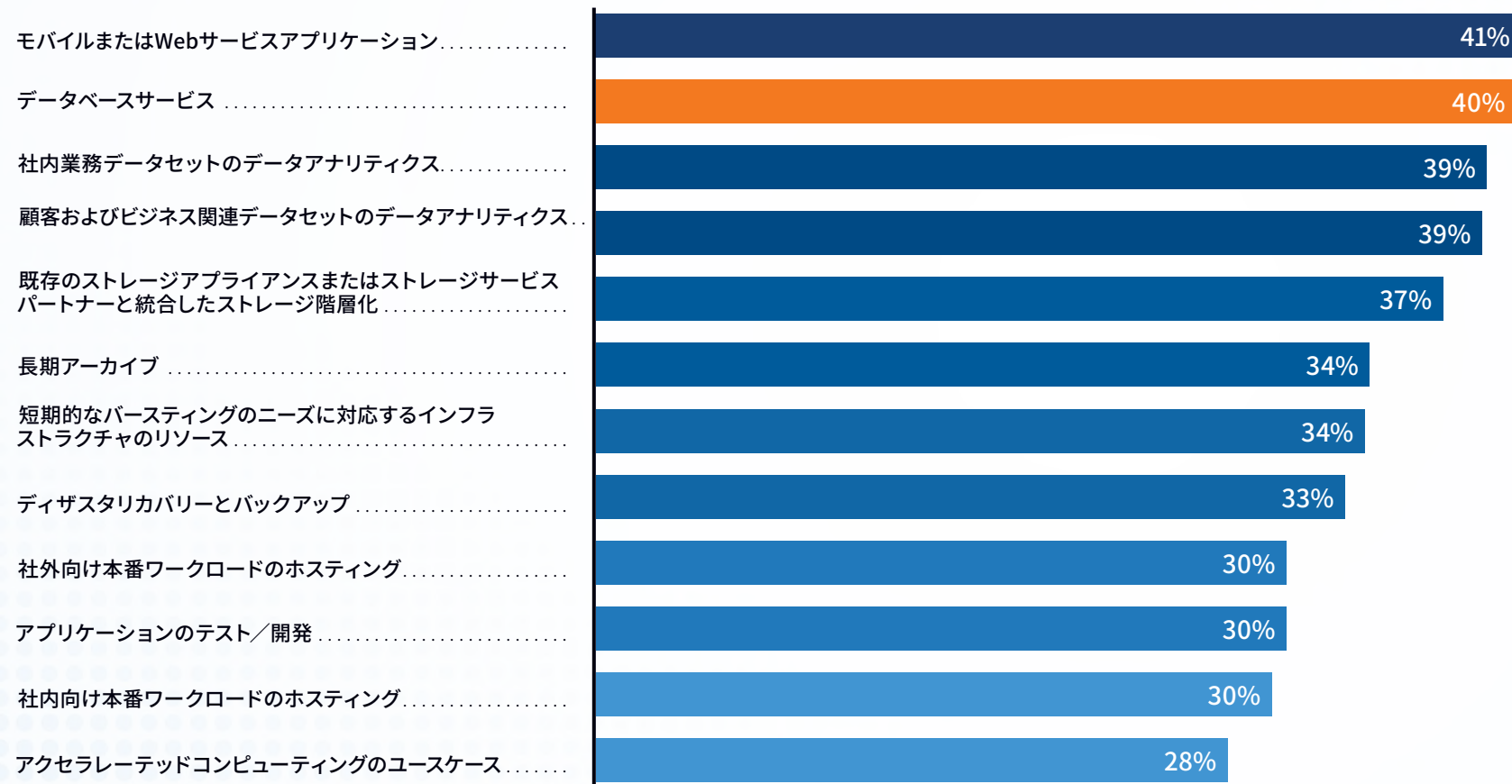
(回答率)



世界中のミッションクリティカルなアプリケーションにとっての重要なデプロイメントモデルであるパブリッククラウド

パブリッククラウドのユースケース

(回答率)



40%
の回答者がデータベースサービスにパブリッククラウドを利用している。

1%
未満の組織がパブリッククラウドをまったく使用していない。

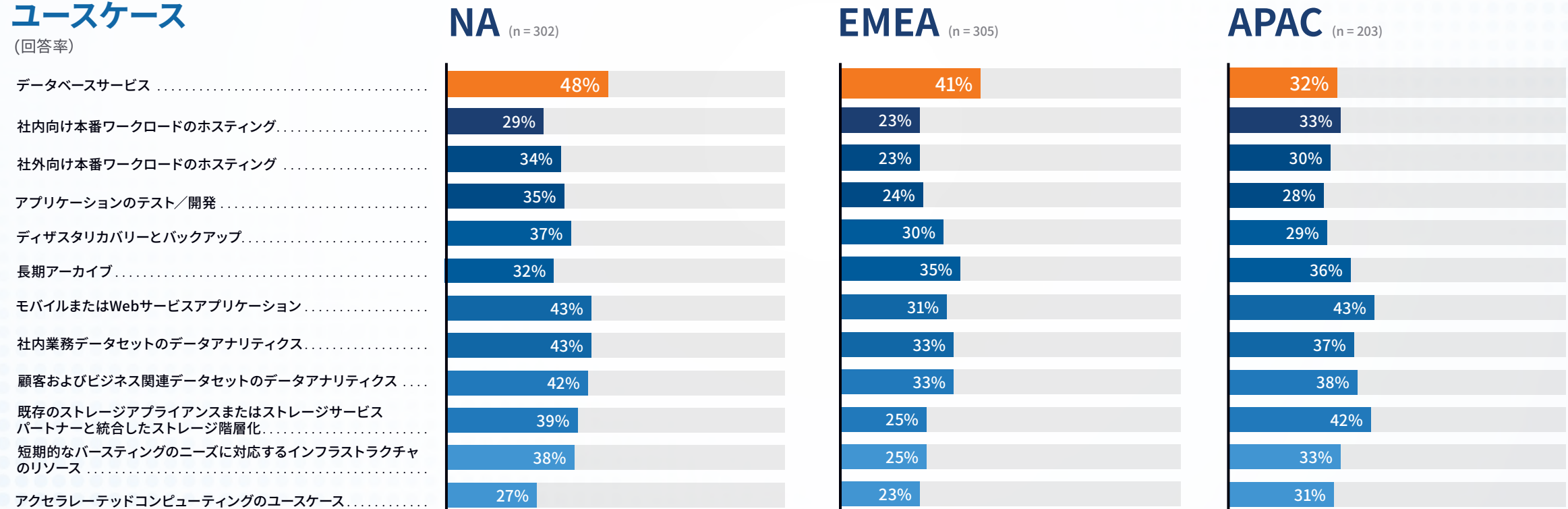
地域別ミッションクリティカルなアプリケーションの パブリッククラウドへのデプロイメント

要点:

パブリッククラウドは、データベースのデプロイメントなど、組織において重要な役割を果たしており、北米では最も活用されている。

パブリッククラウドの地域別 ユースケース

(回答率)



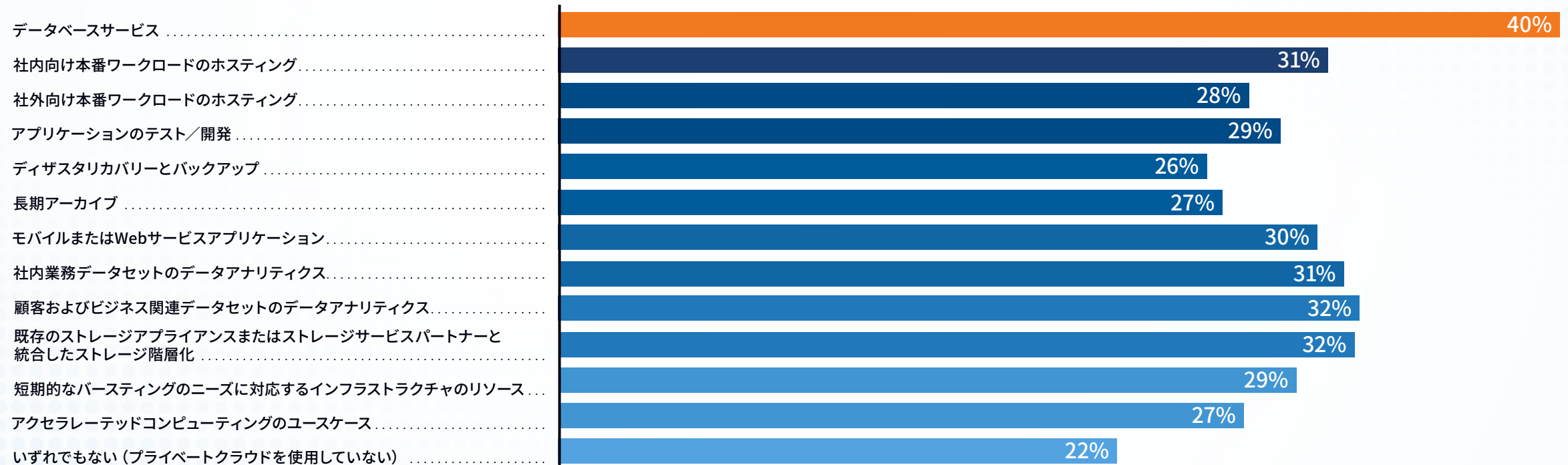
ミッションクリティカルなアプリケーションにとっての重要なデプロイメントモデルでもあるプライベートクラウド

要点:

プライベートクラウドは、データベースのデプロイメントなど、組織において重要な役割を果たしている。

プライベートクラウドのユースケース

(回答率)



アプリケーションのアジリティを低下させるパブリッククラウドでのデータベース管理における課題

要点:

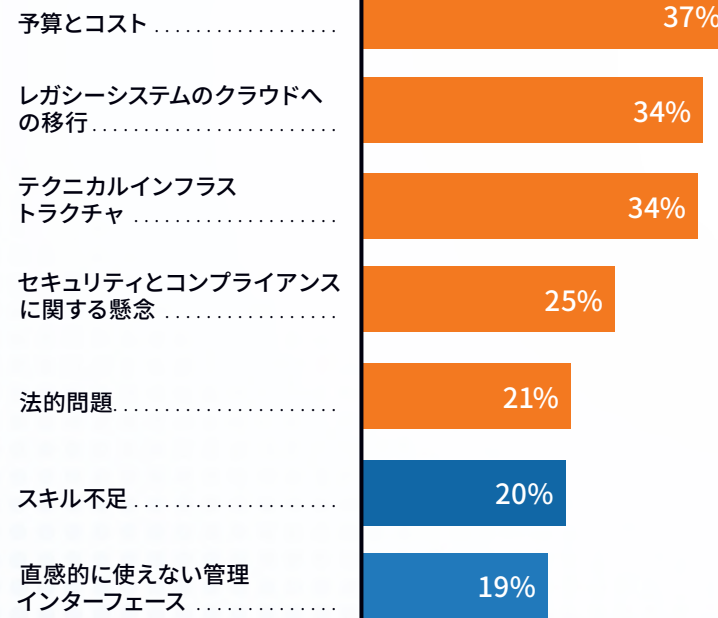
データベースをクラウドに移行する際に適切な計画を立てない組織は、かなり悪い結果を招く可能性がある。

データベースをパブリッククラウドに移行する際の課題として第1位に挙げられるのが**予算とコスト**である。クラウドが低コストでデプロイでき、従量課金制であることを考えると、これは驚くべきことである。

次に多かったのが、**レガシーアプリケーションのクラウドへの移行と技術的なインフラストラクチャ**である。

データベースワークロードをクラウドに配置する際の最大の課題

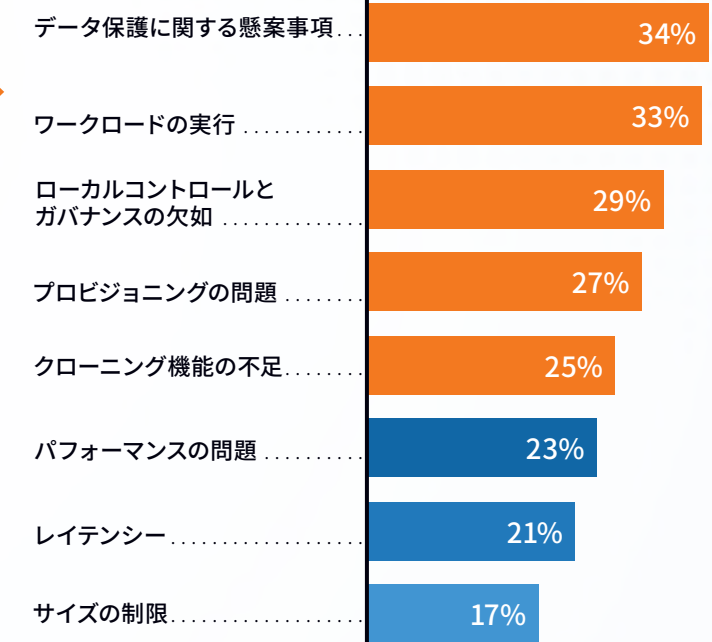
(回答率)



データベースアプリケーションをクラウドに移行した後の最大の課題は、**データ保護とワークロードの実行**であった。

クラウドでデータベースワークロードを実行する際の最大の課題

(回答率)



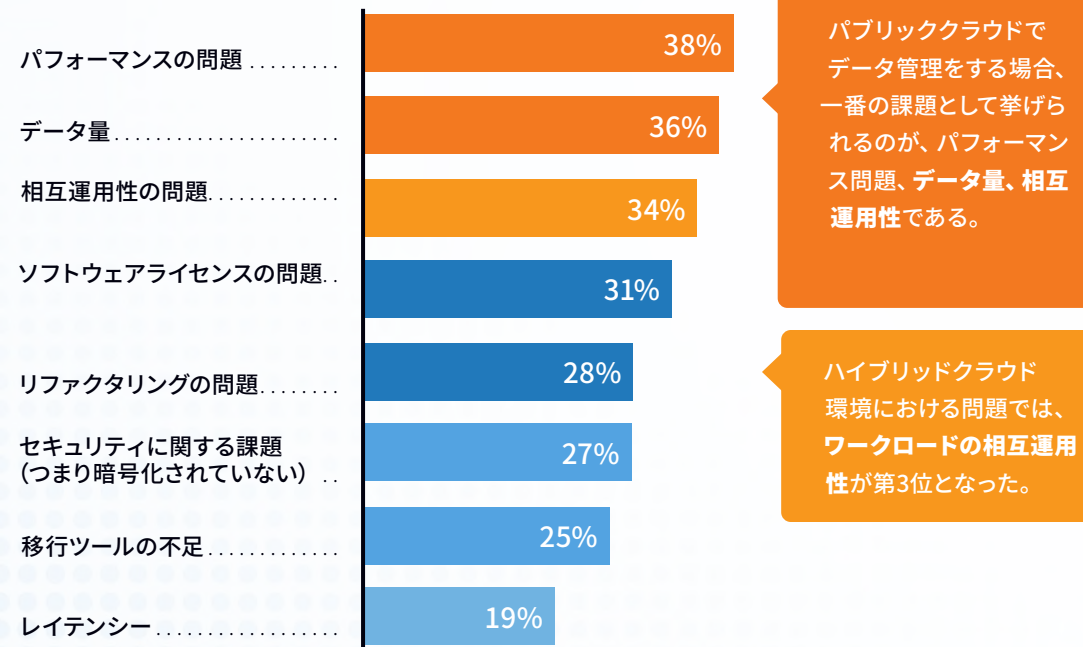
パブリッククラウドおよびハイブリッドクラウド環境における構造化データ管理の課題

要点:

データロジスティクスの問題は、ハイブリッドクラウドでデータベース管理を行う上での重要な課題である。これはデータ管理において必要とされる基本的なスキルやタスクであり、共通のデータベース管理プラットフォームで解決できる。

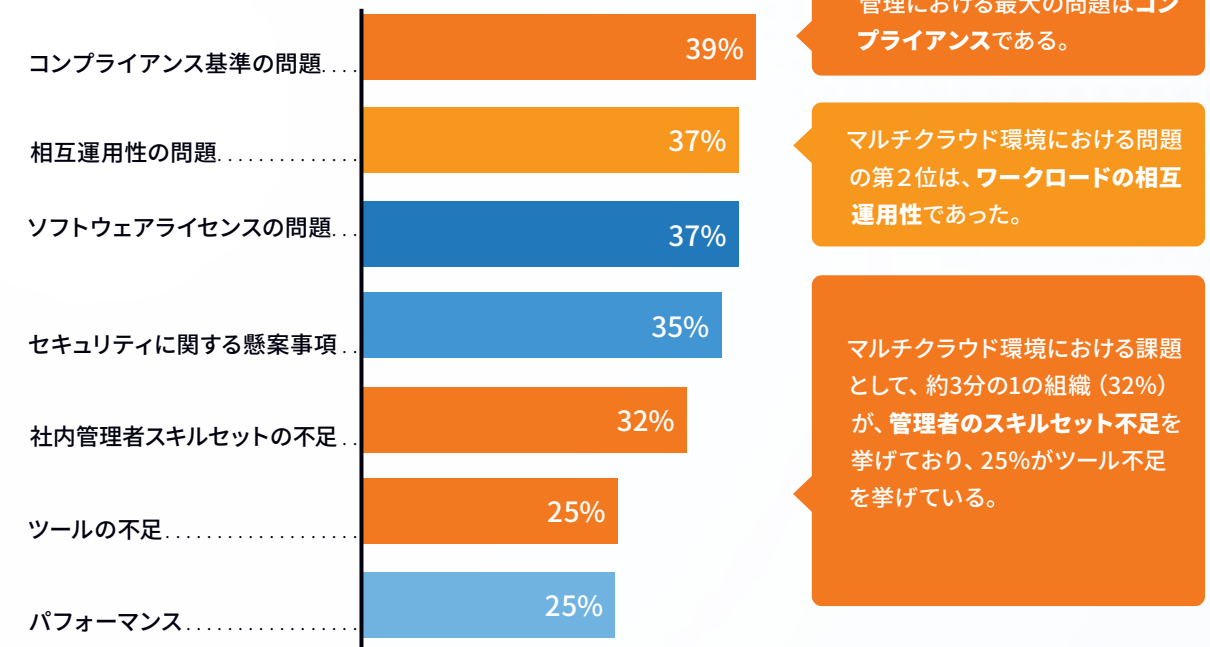
オンプレミスとパブリッククラウド間で構造化データを移動させる際に直面する課題

(回答率)



マルチクラウド環境での構造化データ管理で直面する課題

(回答率)



データベース管理の課題が示す共通の管理プラットフォームの必要性

要点:

一部の組織を除き、構造化データベース管理が容易になることが望ましいと考えている。

34%

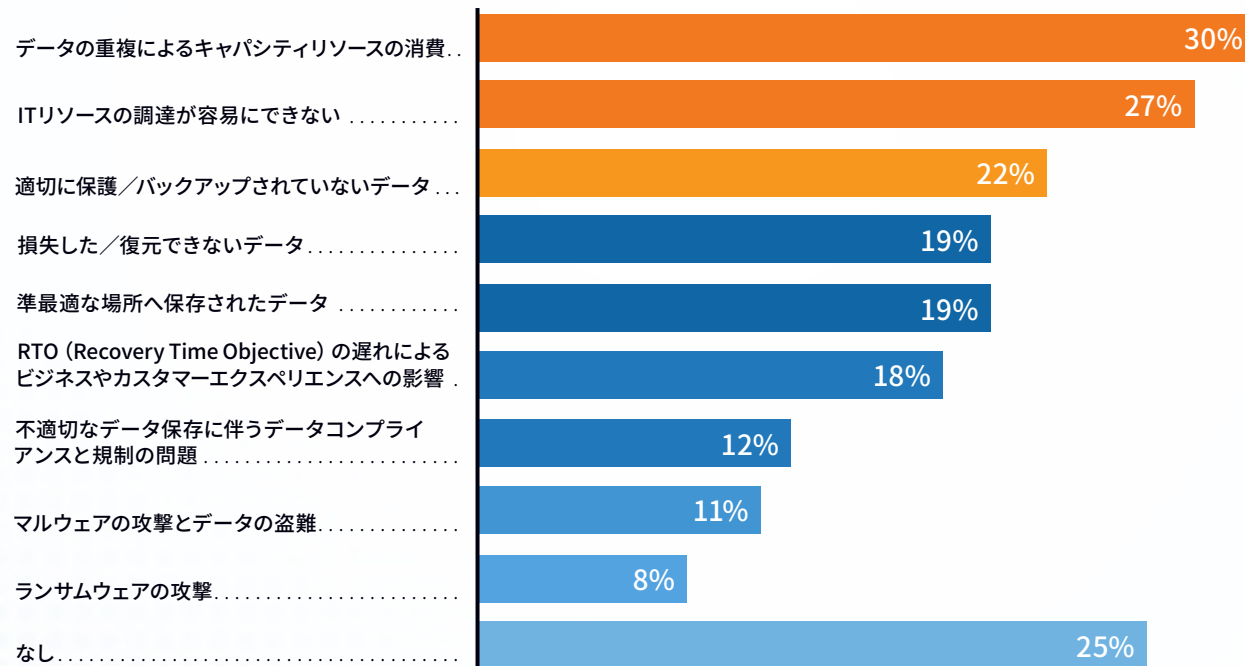
の組織が、プライベートクラウドとパブリッククラウドにまたがる構造化データの管理は「ある程度」または「非常に」困難であると感じている。

14%

は「非常に簡単」と回答した。

過去12か月におけるデータベース管理の課題

(回答率)



過去12か月の最大の課題として、キャパシティリソースの消費が挙げられた。

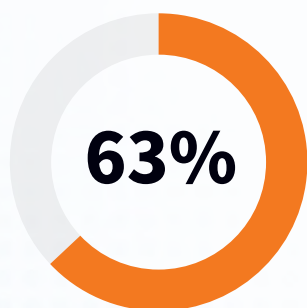
リソース問題は他にもあり、27%がリソースを簡単にプロビジョニングできないと回答している。

データ保護も問題に挙げられた

共通のデータベース管理プラットフォームに期待される メリット

要点:

IT担当の意思決定者は、ハイブリッドクラウドのデータベース管理で現在直面している欠陥を改善するソリューションを求めている。



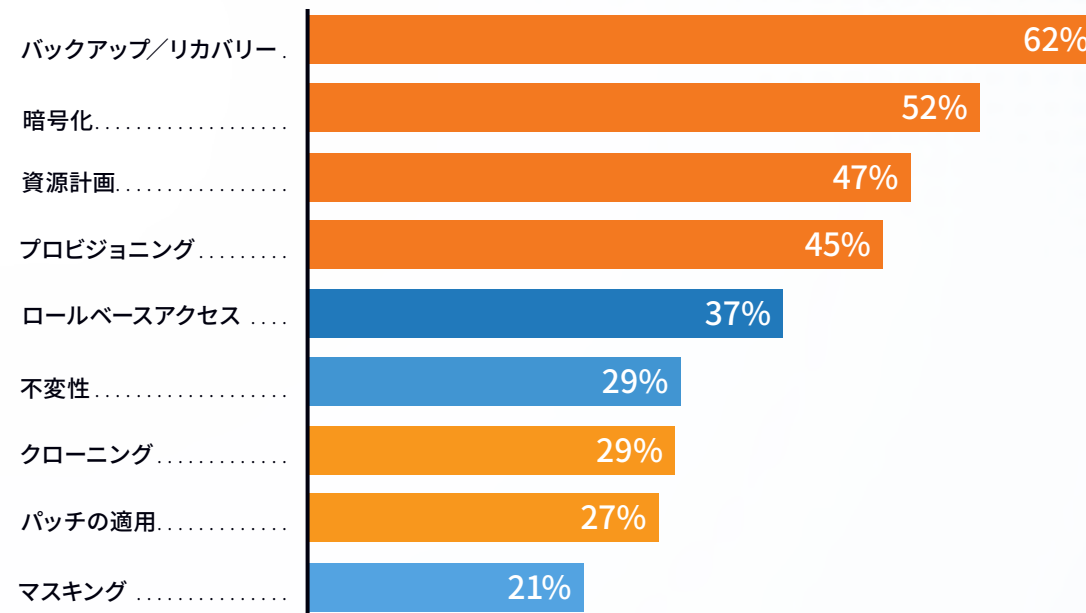
の回答者が、ハイブリッドクラウド全体で共通するデータベース管理プラットフォームがあれば、「非常に」または「極めて」有益であると指摘している。

最も重要で必要な要素

同様に重要

ハイブリッドクラウドでのデータベース管理にとって重要な共通要素

(回答率)



結論



ハイブリッドクラウドでのデータベースデプロイメントは、ほとんどの組織にとって重要な役割を果たしている。



多くの組織がオンプレミスやクラウドでのデータベース管理にある程度満足しているが、ハイブリッドクラウド全体で共通する管理をデプロイしている組織はほとんどない。



最も一般的な要望は、ハイブリッドクラウドにおけるデータロジスティクスの改善に関するものである。

- ▶ オンプレミスとクラウド間でのデータの移動
- ▶ データ保護
- ▶ 資源計画とプロビジョニング
- ▶ クローニングとパッチの適用



一般的なハイブリッドクラウドのデータベース管理プラットフォームをデプロイした組織は、人件費の削減、コスト管理の改善、データ損失のリスク低減などの効果が期待できる。

アナリストについて



Phil Goodwin

リサーチバイスプレジデント、Infrastructure Systems,
Platforms and Technologies Group, IDC

Phil Goodwin は、IDCのEnterprise Infrastructure Practiceのリサーチバイスプレジデントとして、データ管理に関する調査を担当している。進化する業界のトレンド、ベンダーの業績、新技術の導入による影響について詳細な洞察と分析を提供している。クラウド型およびオンプレミス型のデータ保護、事業継続とディザスタリカバリー、データ可用性に特に焦点を合わせた、タイムリーで徹底した市場調査の実施と提供を担当している。これらの市場を総合的に捉え、リスク分析、サービスレベル要件、コスト／ベネフィット計算などを調査対象としている。

[Phil Goodwinに関する詳細](#)

スポンサーからのメッセージ

Intelベースのプラットフォーム上で動作するNutanixのハイパーコンバージドインフラストラクチャ (HCI: Hyperconverged Infrastructure) は、企業がITの複雑さを軽減し、データをより有効に活用して新たな知見を得て、価値を生み出すまでの時間の短縮に役立ちます。管理しやすく、高性能なHCIによって、企業は、ワークロードに最適化され、クラウド対応でセキュリティ機能の付いたインフラストラクチャ上で実行できるデータアナリティクスやAI (Artificial Intelligence: 人工知能)、データベース、ERP (Enterprise Resource Planning)、コラボレーション、インメモリーコンピューティング、仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI: Virtual Desktop Infrastructure) を使用して、より容易に革新を起こし、新しいビジネスモデルを開発することができます。

Nutanix Eraは、お客様がどのようなデータベースをデプロイするかに関わらず、クラウドのシンプルさ、アジリティ、スケーラビリティを提供します。オンプレミス、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウドを問わず、EraはNutanix上で動作する複数のデータベースエンジンにまたがりワンクリックでのプロビジョニング、パッチ適用、クローン/スナップショットを可能にすることで、合理化したデータベース管理を実現します。

Eraの試験運用を始めましょう

NUTANIX™



IDC Custom Solutions

本調査はIDC Custom Solutionsが発行したものである。IDC Custom Solutionsグループは、情報技術、通信、コンシューマーテクノロジー市場向けのマーケットインテリジェンス、アドバイザリーサービス、イベントを提供する世界有数のプロバイダーとして、世界市場における顧客の計画、マーケティング、販売、成功を支援している。実用的なマーケットインテリジェンスと、測定可能な成果をもたらす影響力のあるコンテンツマーケティングプログラムを作成している。



 @idc

 @idc

[idc.com](https://www.idc.com)

IDC Research, Inc.
140 Kendrick Street
Building B
Needham, MA 02494, USA
T +1 508 872 8200

© 2021 IDC Research, Inc. IDCの資料は、**外部での利用**を許可されており、IDCの調査の使用や公開は、いかなる場合も、スポンサーまたはライセンシーの製品や戦略をIDCが支持していることを示すものではありません。

[Privacy Policy](#) | [CCPA](#)